

第7節 駐車場整備事業

1 現状と課題

(1) 現状

駐車場整備事業については、構造別では広場式が全 22 施設中 13 施設で最も多く、全体の 59.0%を占めている。

また、一般行政部門における都市対策、商店街振興等の観点から駐車場を整備するケースが多く、厳しい経営を迫られている。

(2) 課題

今後は駐車場需要の動向や民間施設との競合状況など社会情勢の変化を踏まえつつ、既存施設そのもののあり方や公営企業で運営することの適否等について十分検討する必要がある。

2 平成 26 年度決算の概況

(1) 事業数等

平成 26 年度において県内の地方公共団体が経営する駐車場整備事業の数は 11 事業で、前年度同数となる。経営主体別にみると、指定都市 1 事業（前年度同数）、市 10 事業（前年度同数）となっている。また、施設数は 22 施設で前年度同数となり、その内訳は指定都市 2 施設（前年度同数）、市 20 施設（前年度同数）となっている。（第 1 表）

第 1 表 駐車場整備事業の事業数

経営主体	25			26			増減数 (B)-(A)
	法適用 企 業	法非適用 用 企 業	計(A)	法適用 企 業	法非適用 用 企 業	計(B)	
指 定 都 市	(-)	(2)	(2)	(-)	(2)	(2)	(0)
	-	1	1	-	1	1	-
市	(-)	(20)	(20)	(-)	(20)	(20)	(0)
	-	10	10	-	10	10	-
計	(-)	(22)	(22)	(-)	(22)	(22)	(0)
	-	11	11	-	11	11	-

(注) ()書は、施設数である。

(2) 業務の状況

平成 26 年度における駐車場整備事業の施設の収容能力は 3,424 台で、前年度 (3,435 台) に比べ 11 台 0.3%減、1 日平均利用台数は 3,684 台、前年度 (3,598 台) に比べ 86 台 2.4%増加している。(第 2 表)

第2表 駐車場整備事業の業務概況

経営主体	区分		26				
	25		適用区分			構造別	
	計	計	法適用企業	法非適用企業	立体式	地下式	広場式
施設数	22	22	-	22	6	3	13
駐車場使用面積(千㎡)	101,385	101,291	-	101,291	28,047	14,340	58,904
収容能力(台)	3,435	3,424	-	3,424	1,332	349	1,743
1日平均利用台数(台)	3,598	3,684	-	3,684	1,370	909	1,405

(3) 駐車場整備事業の経営状況

駐車場整備事業の収支の状況をみると、平成16年度以降黒字となっている。

黒字事業は前年度に引き続き、全11事業で、黒字額は1億7,249万9千円、前年度(1億5,664万2千円)に比べ、1,585万7千円、10.1%増加している。(第3表)

また、他会計繰入金の収益的収入に占める割合は6.4%、資本的収入に占める割合は95.2%となっている。

第3表 全体の経営状況

(単位:千円)

区分	年度 項目	25(A)			26(B)			増減額((B)-(A))		
		法適用	法非適用	合計	法適用	法非適用	合計	法適用	法非適用	合計
	(事業数)	(-)	(11)	(11)	(-)	(11)	(11)	(-)	(0)	(0)
	黒字額	-	156,642	156,642	-	172,499	172,499	-	15,857	15,857
	(事業数)	(-)	(-)	(0)	(-)	(-)	(0)	(-)	(0)	(0)
	赤字額	-	0	0	-	0	0	-	0	0
	(事業数)	(-)	(11)	(11)	(-)	(11)	(11)	(-)	(0)	(0)
	収支	-	156,642	156,642	-	172,499	172,499	-	15,857	15,857

(注) 1. 事業数は、決算対象事業数(建設中のものを除く)である。

2. 黒字額、赤字額は、法適用企業にあっては純損益、法非適用企業にあっては実質収支による。

(4) 法非適用企業の経営状況

ア 収益的収支の状況

法非適用企業の収益的収支のうち総収益は7億1,339万9千円で、前年度(6億7,005万9千円)に比べ4,334万円、6.5%増加している。

一方、総費用は4億361万4千円で、前年度(4億1,671万7千円)に比べ1,310万3千円、3.1%減少している。

イ 資本的収支の状況

法非適用企業の資本的支出は4億2,218万7千円で、前年度(5億311万5千円)に比べ8,092万8千円、16.1%減少している。このうち建設改良費は1,249万8千円で、前年度(1億32万3千円)に比べ8,782万5千円、87.5%減少している。また、地方債償還金は2億8,436万4千円で、前年度(2億7,482万4千円)に比べ954万円、3.5%増加して

いる。

これに対する資本的収入は1億8,035万9千円で、前年度（3億108万1千円）に比べ1億2,072万2千円、40.1%減少している。このうち地方債は560万円で、前年度（6,470万円）に比べ5,910万円、91.3%減少している。また、他会計繰入金は1億7,175万9千円で、前年度（2億3,627万8千円）に比べ6,451万9千円、27.3%減少している。

ウ 実質収支

実質収支をみると、黒字額は1億7,249万9千円（前年度1億5,664万2千円）となっている（1,585万7千円、10.1%増加）。（第4表）

第4表 駐車場整備事業の経営状況の推移（法非適用企業）

(単位:千円、%)

項目		年度	25	26	(B)-(A)
			(A)	(B)	(A)
収益的 収支	総 収 益 (a)		670,059	713,399	6.5
	営 業 収 益 (b)		608,999	631,258	3.7
	うち料金収入		600,311	623,500	3.9
	他会計繰入金		56,189	45,564	△ 18.9
	総 費 用 (c)		416,717	403,614	△ 3.1
	営 業 費 用		396,091	386,574	△ 2.4
	うち職員給与費		2,363	2,343	△ 0.8
	収 支 差 引		253,342	309,785	22.3
資本的 収支	資 本 的 収 入		301,081	180,359	△ 40.1
	地 方 債		64,700	5,600	△ 91.3
	他会計繰入金		236,278	171,759	△ 27.3
	資 本 的 支 出		503,115	422,187	△ 16.1
	建設改良費		100,323	12,498	△ 87.5
	地方債償還金 (d)		274,824	284,364	3.5
収 支 差 引		△ 202,034	△ 241,828	19.7	
実質収支 黒 字			156,642	172,499	10.1
赤 字 (e)			0	0	0.0
収益的収支比率 $\frac{(a)}{(c)+(d)} \times 100$			96.9	103.7	-
赤字比率 $\frac{(e)}{(b)} \times 100$			-	-	-
事 業 数			11	11	-
うち建設中			-	-	-
収益的収支で赤字を生じた事業数			-	-	-
実質収支で赤字を生じた事業数			-	-	-

(注) 営業収益は受託工事収益を除いたものである。

(5) 料金収入

料金収入は6億2,350万円で、前年度6億31万1千円に比べ2,318万9千円、3.9%増加している。

(6) 他会計繰入金

他会計繰入金は2億1,732万3千円で、前年度2億9,246万7千円に比べ7,514万4千円、25.7%減少している。

収益的収入に対する繰入金は4,556万4千円で、前年度5,618万9千円に比べ1,062万5千円、18.9%減少している。

また、資本的収入に対する繰入金は1億7,175万9千円で、前年度2億3,627万8千円に比べ6,451万9千円、27.3%減少している。

(7) 経営健全化の状況

平成20年度から施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、資金不足比率が20%以上となる公営企業会計には経営健全化計画の策定が義務付けられている。駐車場整備事業においては、前年度同様、対象なしとなっている。